



2016年TOMODACHI

**TOMO
DACHI**

イニシアチブ活動報告書



未来を担う グローバルリーダー の育成

親愛なる友人の皆さま、

2016 年は、日米両国にとって、極めて重要な一年となりました。東日本大震災から 5 年を迎え、あらためて犠牲となった方々をしのび、復興に向けた取り組みの進展を評価し、まだ終わっていない仕事について考えました。また、両国の首脳の広島および真珠湾訪問を受け、和解の重要性に思いをはせる年となりました。

東日本大震災の復興支援として誕生した TOMODACHI イニシアチブは、友情と協力の精神の下、日米両国の次世代リーダーを育成しています。米日カウンシル、日本国政府、在日米国大使館のユニークなパートナーシップとして、両国の企業の支援を受けて運営されている TOMODACHI イニシアチブは、2016 年 3 月に日本国政府が、同イニシアチブへの支援にあたり米日カウンシルとのパートナーシップを継続・強化する覚書に署名したことを機に、さらに強固なものになりました。

TOMODACHI イニシアチブは発足以来、文化交流プログラムやリーダーシップ育成研修を通して、日米両国の 5,700 人を超える若者の人生に深い影響を与えてきました。2016 年だけでも、47 のプログラムに 1,000 人を超える若者が参加し、また今日までに 36,000 人以上の人々が、米国および日本で開催される TOMODACHI プログラムやイベントに参加しています。

TOMODACHI イニシアチブは、2017 年も引き続き、女性のエンパワーメントの推進、科学技術分野の学生や障がい者を対象にしたプログラムの拡充を通して、リーダーシップ育成プログラムの多様化を進めて参ります。また、TOMODACHI のアラムナイ向けプログラムを引き続き強化し、アラムナイが直接、影響を与えることができる、各々のコミュニティにおける活動を奨励して参ります。

「TOMODACHI 世代」の明るい未来に対する我々のコミットメントにご賛同いただいている皆さまに、心から感謝申し上げます。

Jason P. Hyland *Aileen Hirano Inoue*

ジェイソン・P・ハイランド
臨時代理大使
在日米国大使館

アイリーン・ヒラノ・イノウエ
米日カウンシル会長

2016年3月4日、日本国政府と米日カウンシルが、「TOMODACHIイニシアチブにおけるパートナーシップの強化に関する覚書」に署名しました。



使命

TOMODACHI イニシアチブは、米日カウンシルと在日米国大使館が主導する官民パートナーシップで、日本国政府の支援も受けています。東日本大震災後の復興支援として発足され、教育・文化交流・リーダーシップ育成などのプログラムを通して、日米の次世代リーダー育成を目指します。

背景

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生を受け、米軍と自衛隊は「トモダチ作戦」を通じて東北地方への緊急人道救援活動で協力し、成功を収めました。この時の協力と友情の精神を基盤に、米国と日本は TOMODACHI イニシアチブを開始しました。TOMODACHI は在日米国大使館と米日カウンシルが主導し、日本国政府の支援の下、日米両国の企業、組織、個人から協力を受け、運営されています。

ビジョン

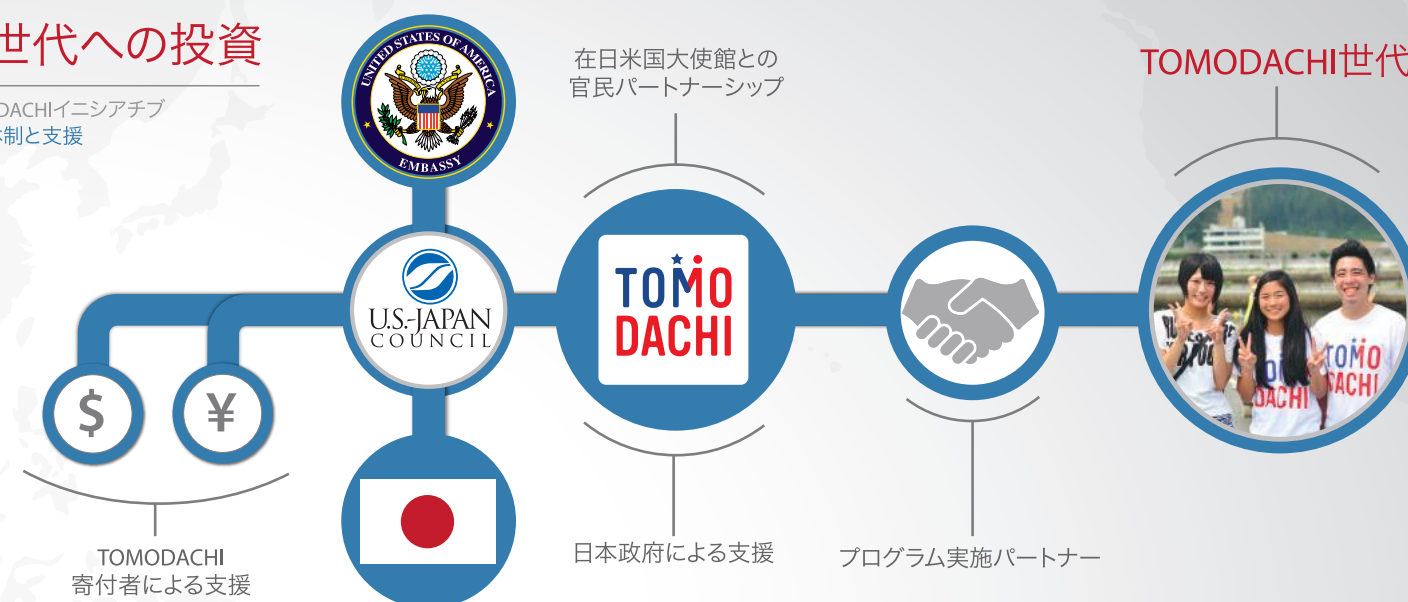
日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、さらには、より協力的で繁栄した安全な世界へ貢献するために、また、そうした世界で成功を収めるために必要とされている、技術と国際的な視点を備えた日米の次世代リーダーである「TOMODACHI 世代」の育成を目指しています。

将来

TOMODACHI イニシアチブは、革新的な官民パートナーシップの模範としての役割を今後も果たしていきます。そして、「TOMODACHI 世代」を育成するアラムナイ（プログラム経験者）・プログラムなど、異文化交流を通じて日米の若手リーダーを育成する各種プログラムを企画・構築し、日米関係を支援する企業・団体とのパートナーシップを拡大していきます。

次世代への投資

TOMODACHIイニシアチブ
組織体制と支援



次世代リーダー育成を目指すプログラム



TOMODACHIプログラム



教育プログラムは、短・中・長期の留学体験を通じ、互いの文化に触れることで、日米両国の若者の交流を活性化また拡大し、彼らの人生に刺激を与えます。



文化交流プログラムは、スポーツや音楽、芸術の分野において、日米両国の若者が、相互の国の文化を学び、関心を継続していくためのきっかけを提供します。



リーダーシップ・プログラムは、次世代のリーダーとして、成功を収めるためのスキルや専門知識を得る機会を提供します。



アラムナイ・プログラムは、TOMODACHIの経験を基に実施されるプログラムです。日米の若者たちが経験、スキルや自信を身に付けることで、インスピレーションと活力を得て、夢を実現し、より良い世界の構築に貢献できる人材となるよう支援します。

TOMODACHIは日米の次世代リーダー育成に焦点を当て、異文化交流などの一連の体験を通じて若手リーダーの育成を支援しています。

TOMODACHIアラムナイ(プログラム経験者)ネットワーク

異文化リーダー成長過程



異文化体験

- » 異文化との初めての接触
- » 次世代の若者に日米関係を紹介



インスピレーション

- » 人生の転機となる異文化体験
- » 若者の異文化体験



学習

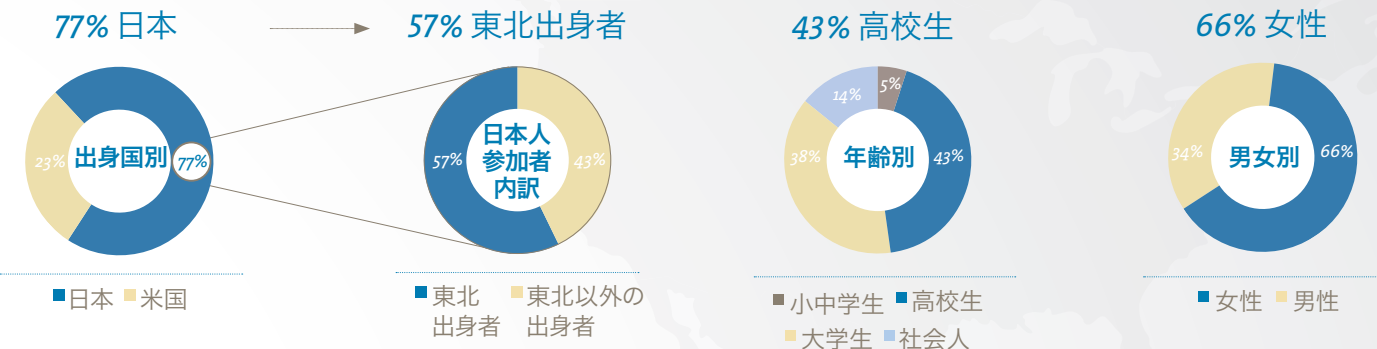
- » 知的好奇心を満たす学びの機会
- » 社会貢献や地域社会での活動



アラムナイ

- » 次世代リーダーの育成
- » 起業家精神育成プログラム
- » 女性のためのメンターシッププログラム

2016年TOMODACHI活動早見表



2016年は**47**件のプログラムを実施、**1,081**名の若者が参加



発足から2016年12月までに、**36,000**名以上のイベントとプログラム参加者を記録



発足以来、**216**件のTOMODACHIプログラムを実施
プログラム参加者は**5,700**名以上

「東日本大震災後の復興支援として発足した、『TOMODACHIイニシアチブ』に、日本政府としては運営主体である米日カウンシルとともにパートナーシップを立ち上げる等、力を惜しまず協力を進めていきます。」

— 岸田 文雄外務大臣 第53回日米財界人会議(2016年11月3日)



提供：外務省

最大の効果をもたらす パートナーシップ

TOMODACHI イニシアチブを支援するストラテジック・パートナーは、ユニークな機会を提供する特別なプログラムを通して、次世代を担う若者の人生に大きな影響を与えています。参加者は、短期間の交流や奨学金を含む多彩なプログラムを通して、リーダーシップ向上のための実践的なスキルを身に付け、また、ネットワーキングの機会を得ることができます。

2016年には、中学生から若手社会人まで400名を超える参加者が、ストラテジック・パートナーの支援で実施された17のプログラムに参加しました。プログラム終了後、参加者は「TOMODACHI 世代」として、アラムナイ（プログラム経験者）向けの様々なイベントやワークショップ、プログラムに参加して交流し、お互いに刺激を与えながら成長し続けています。

「米国へ留学する前、将来宇宙飛行士になるのが夢だと話していました。帰国した今、私は宇宙飛行士としてだけではなく、一人の日本人、そしてTOMODACHI世代として世界を変えていきたいと思っています。」

— 真部 魁人、TOMODACHI住友商事奨学金プログラム



2016年ストラテジック・パートナー・プログラム

教育プログラム



TOMODACHI Honda 文化交流プログラム

3年目となった本プログラムでは、東日本大震災の影響を受けた福島県から20名の高校生が、カリフォルニア州ロサンゼルスとその郊外で、2週間の文化交流プログラムに参加。プログラムの一環として、米国で新年の行事として有名なローズパレードで音楽演奏を行いました。その他、全米日系人博物館やアメリカン・ホンダ・モーター社を訪問しました。



TOMODACHI MUFG 国際交流プログラム

5年目を迎えた本相互交流プログラムでは、岩手県、宮城県、福島県から中高校生20人がカリフォルニア州ロサンゼルスでホームステイや文化交流を体験しました。また、ボランティア活動や英語の授業に参加し、米国の文化や英語を学ぶ機会を得た他、全米日系人博物館への訪問や、現地で活躍する日本企業の視察、日本人との交流を通して、日米関係とその歩みを学びました。



TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム

2014年に発足した大学生を対象とする1年間の奨学金プログラム。米国留学のために財政援助を必要としている学生を対象としています。2016年には、10名の日本人学生が選出され、全米各地の大学に留学しました。本プログラムの目的は、日米の架け橋として活躍するグローバルな視野を持った若手リーダーを育成することです。



TOMODACHI-UNIQLO フェローシップ

日本のビジネスおよびファッション業界を担う次世代リーダーを支援するプログラム。留学先は米国有数の教育機関、スタンフォード大学経営大学院、ニューヨーク州立ファッション工科大学（FIT）、パーソンズ・ニュー・スクール・フォー・デザインとなっており、2016年は2名の大学院生が奨学金を受けました。

地域と人々に 活力を与える

「私は、東日本大震災で大切な家族を失いました。現在も仮設・公共住宅で暮らす人、落ち込んでいる人が多くいる状況を、自分を変えていけないといけなと考えていました。TOMODACHIプログラムを通してリーダーシップを学んだ今、復興を率先していきたいと思っています。」

— 工藤 航、TOMODACHI ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム



リーダーシッププログラム



TOMODACHI アフラックプログラム

米国における最先端の小児がん研究の経験を通じ、日本での治療・研究に役立てる目的で設立された研修プログラム。4年目を迎えた2016年は、公立大学法人福島県立医科大学附属病院の小林正悟医師がジョージア州アトランタにある「アフラックがん・血液病センター」に派遣され、小児がんの介護と治療方法を学びました。



J.P. モルガン支援の TOMODACHI NGO リーダーシッププログラム

日本の NGO のリーダーを対象に、国内外で起こり得る災害に備えるために、米国の NGO が有する様々なリソースを提供するプログラム。複数年にわたって実施される本プログラムは、研修旅行や国内での活動を通し、NGO の能力開発を図ります。2016 年は、日本の NGO のリーダー 39 名を対象にワークショップが実施され、セキュリティ・マネージメントと現場での安全対策を向上させました。



TOMODACHI Microsoft iLEAP Social Innovation and Leadership プログラム

複数年にわたって実施される本プログラムでは、次世代の日本人が世界で活躍する為に必要不可欠な、協働やリーダーシップ等のスキルを養います。プログラム初年度となった今年は、日本人学生と若手社会人 25 名が、ワシントン州シアトルで実践型リーダーシップ研修に参加しました。参加者は起業家精神の講義を受講し、クリティカル・シンキングのスキル向上を図った他、主にマイクロソフト社の社員をテクニカル・アドバイザーとして迎え、様々な研修に取り組みました。



TOMODACHI MetLife Women's Leadership Program

4年目を迎えた本メンターシップ・プログラムは、東京、大阪、札幌、那覇の4都市で開催され、メンターとメンティー計100名の女性が自己啓発、リーダーシップ研修、ネットワーキングのスキル向上、財務などに特化した年間5回のワークショップに参加しました。プログラムの終盤にはワシントン D.C. とニューヨークで研修旅行が実施され、影響力のある官民分野のリーダーを訪問しました。



TOMODACHI-Mitsui & Co. リーダーシップ・プログラム

日米の官民両分野から各10名の若手リーダーが相手国を往訪し、それぞれ1週間の視察や交流プログラムに参加しました。2016年度のプログラムのテーマ、「イノベーション、企業家精神、リーダーシップ」の下、米国メンバーは福島と東京を訪問、また日本メンバーはミシガン州デトロイトおよびワシントン D.C. を訪問し、これらの分野における日米の協力関係を強固にするために、自らが果たすべき役割を考察しました。



TOMODACHI ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム

2012年に発足したプログラム。岩手県、宮城県、福島県の高校生100名が、カリフォルニア大学バークレー校が実施している3週間集中コースの問題解決型ワークショップ、「Y-PLAN (Youth – Plan, Learn, Act, Now!)」に参加し、地域社会の活性化について学びました。プログラムを通してリーダーシップや地域社会の問題解決への洞察力を身に付けた高校生は、東北地方で様々な活動に取り組んでいます。



TOMODACHI ゴールドマン・サックス女性起業家支援プログラム

2年目を迎えた女性起業家のリーダーシップ向上を目指すプログラム。ゴールドマン・サックス証券の社員がプロボノで認定特定非営利活動法人かものはしプロジェクトと特定非営利活動法人トイボックスを支援しました。本年は、「子育てと仕事の両立」をテーマに、組織のビジョン、計画、フレームワークの構築を行いました。



TOMODACHI 大和ハウス学生リーダーシップ会議

2016年春と秋に2回開催。春にテキサス州ダラスで行われた会議のテーマは「アメリカ南部地域における日米関係：未来のコミュニティの変革」、秋には首都ワシントン D.C. で「ワシントン D.C. で学ぶ日米関係：リーダーシップ・伝統・公益活動」と題して開催されました。76名の学生が参加し、各テーマに沿って、学問、職業、日米関係の見地から、議論を行う機会を得ました。



TOMODACHI J&J 災害看護研修プログラム

看護を専攻する学生の災害看護に関する専門知識の深化、次世代を担うリーダーシップの育成を目的として2015年に設立されたプログラム。2年目となる2016年には、岩手県、宮城県、福島県から選出された12名の学生と3名のメンターが、ワシントン D.C.、ニューヨークを訪問し、災害看護に取り組む看護師や有識者と交流しました。



TOMODACHI 東芝科学技術リーダーシップ・アカデミー

日米の高校生16名と教員8名が東京に集結し、災害に強いスマートコミュニティを構築するために、課題を特定し、創造性に富んだ解決策に取り組みました。日米の生徒たちは、STEM（科学・技術・工学・数学）の知識を深めるとともに、世界における複雑な問題を解決するための科学と技術の応用について活発な議論を行いました。

地域と人々に 活力を与える

文化交流プログラム



TOMODACHI ゴールドマン・サックス・ミュージック・アウトリーチ・プログラム

米国の非営利団体「ヤングアメリカンズ」の才能ある若手アーティストが、岩手県、宮城県、福島県の被災地にある小中学校を訪問し、900名以上の児童生徒と教員を対象に、歌とダンスを駆使したワークショップを実施しました。参加者は世界共通語である音楽を通して共に学び、お互いの強みを尊重し、自分の可能性を発掘しました。また才能とエネルギーに満ちたヤングアメリカンズのキャストとの交流を通して、自信を持ち、異なる言語や文化を学ぶ意欲を掻き立てられました。



TOMODACHI サントリー 福島未来ミュージックプログラム

福島県立ふたば未来学園高等学校の生徒8名が米国でニューヨーク・フィルハーモニックが開催するワークショップに参加しました。プログラムの最後には、ニューヨークのリンカーンセンターで200人の観客の前で自ら編曲を手掛けた楽曲を演奏しました。



TOMODACHI サントリー音楽奨学金

2014年から実施されている本奨学金プログラムは、米国有数の名門音楽大学であるジュリアード学院、バークレー音楽大学、サンフランシスコ音楽院における日本人学生の留学を支援するプログラムで、音楽の勉強を通して日米関係の強化を図ってきたいという熱意を持っている若手日本人音楽家の育成を目指しています。2016年には4名の奨学生が選出され、奨学金を受けた学生は合計10名となりました。

「渡米プログラムに参加して、言葉で表現出来る以上の経験を得たと思います。最初は、英語という言語の厚みでなかなか対話が困難でしたが、無邪気に笑いあったり、手足を使えば、心を通わせることが出来るのだと実感しました。また、アメリカ人生徒の作曲は、工夫や独自のイメージが曲に生かされていて、熱心な音楽への姿勢に感動しました。」

— 原中 美穂、TOMODACHI サントリー 福島未来ミュージックプログラム

「自分自身に挑戦することの 重要性を学びました」



株式会社ローソンと株式会社ファミリーマートの多大な支援によって設立された TOMODACHI コンビニ基金は、東北地方の若い世代に、将来に対する視野を広げ、未来を切り開く自信をつける機会を提供しています。2016年には、「TOMODACHI 女子高校生キャリアメンタリングプログラム in 福島 2016」を支援し、福島県内の高校2年女子生徒120名が、4つのセッションを通じたキャリア育成プログラムに参加しました。外国人留学生や社会で活躍している女性が「挑戦」というテーマの下、どのように苦難を乗り越え、目標を達成してきたかという体験談に、参加者は目を輝かせて聞き入りました。

東北の若者に希望を

TOMODACHI 交流基金は、トヨタ自動車株式会社、三菱商事株式会社、株式会社日立製作所の支援により、2012 年 4 月に発足しました。本基金は東北地方の若者に、包括的で革新的な教育・文化交流プログラムに参加する機会を提供しています。

2016 年には 11 のプログラムを通して、東北と米国の若者の交流を促進しました。また同年 3 月には東日本大震災から 5 年を迎える中、TOMODACHI 交流基金をさらに拡大し、次世代を担う東北の若者を継続的に支援していくことを発表しました。

「プログラムに参加する以前から、アニメや漫画を通して日本に慣れ親しんでいたもので、日本に対して好印象を持っていました。そして東北での経験が、その全てをより良い方向に変えたのです。日本で留学することも考え始めましたし、大学生になったら再び東北を訪問する機会を作りたいと思っています。」

— シエラ・クイーン、TOMODACHI米日ユース交流プログラム



2016 年 TOMODACHI 交流基金プログラム

TOMODACHI アロハ・リーダーシッププログラム | TOMODACHI 世代の構築：日米の学生による社会的問題解決のためのパートナーシップ | TOMODACHI ダラス・仙台 ヤング アンバサダーズ プログラム | TOMODACHI FIRST (Food Innovation for Regional Sustainability in Tohoku) プログラム | TOMODACHI 福島青年管弦楽団プログラム | HLAB TOHOKU 2016 | TOMODACHI サンディエゴ / ティファナ・大船渡 青少年野球交流プログラム | TOMODACHI 南カリフォルニア・仙台 ユース文化交流プログラム | TOMODACHI セントルイス・石巻友情プログラム | TOMODACHI テイラー・アンダーソン記念基金リサーチ交換プログラム | TOMODACHI 米日ユース交流プログラム

異文化で活躍する リーダーの育成

スポンサーまたはサポーターと呼ばれる協賛・支援企業・個人からの寄付が、教育交流やリーダーシップ育成プログラムおよびスポーツ・音楽・芸術といった文化プログラムなど、多岐にわたる TOMODACHI プログラムを支えています。2016 年には、18 の一般基金プログラムが実施され、中学生から若手社会人までの約 400 名が、日米両国について学び、リーダーシップとネットワーキングのスキル向上を図る機会を得ました。日米各地から次世代を担う若者が、同プログラムに参加しました。



「私は障がいを持ってから自分に自信が持てずにいました。しかしある日、私と同じ障がいを持つ人々が社会の中で生き生きと暮らしている姿を見て衝撃を受けました。彼らを通してTOMODACHIプログラムの存在を知り、リーダーシップやアドボカシーに興味を持ちました。プログラムではアイデンティティや多様性など様々な発見がありました。この経験を生かしてこれからも社会をリードしていきたいです。」

— 工藤 登志子、TOMODACHI 障がい当事者リーダー育成米国研修



2016 年一般基金プログラム

第 68 回日米学生会議 | TOMODACHI ブリッジング・スカラーシップ | TOMODACHI CIE 日米草の根交流サミット アトランタ大会 | TOMODACHI NAJAS 草の根交換プログラム—コロラドスプリングス・富士吉田 | TOMODACHI 障がい当事者リーダー育成米国研修 | TOMODACHI 新生リーダープログラム | TOMODACHI フォースターユース・リーダーシッププログラム | TOMODACHI 世代 グローバル・リーダーシップ・アカデミー | グローバル・クラスメート | TOMODACHI イノウエ・スカラーズ プログラム | TOMODACHI LEAD ON! Tour Japan Series 2016 | 東北野球交流プロジェクト: Ray of Hope | TOMODACHI 草の根交流プログラム-太鼓を通した絆 | TOMODACHI-STEM @ Rice University Program | TOMODACHI ソーシャルアントレプレナーシップ・プログラム | TOMODACHI Social Innovation in Seattle (SIIS) Scholars Program | TOMODACHI インターンシップ・プログラム | 米国大使館・慶応湘南藤沢キャンパス (SFC)・TOMODACHI アントレプレナーシップ・セミナー

関わり続ける

TOMODACHI アラムナイ・プログラムは日米関係を担う次世代リーダーが、次のステージに向けて飛躍するための枠組みを提供しています。TOMODACHI の経験を基に実施されるアラムナイ・プログラムは、日米の若者たちがさらに経験やスキル、自信を身に付けることで、インスピレーションと活力を得て、夢を実現し、より良い世界の構築に貢献できる人材となるよう支援します。これまでに 216 の TOMODACHI プログラムに参加した 14 歳から 40 歳までの 5,700 名のアラムナイを対象に、互いに関わり、刺激し、永続的な強い関係を築くため、さまざまな機会を提供しています。

プルデンシャル財団の支援により、2016 年は 32 の TOMODACHI アラムナイ・プログラムが実施されました。



「『エンジニアになりたいってとっても素敵だね。』TOMODACHIで出会った方々にかけていただいた言葉のおかげで今の私があります。人の役に立ちたいという思いや行動に、国境や性別などない。そう確信できたから、もう怖くありません。笑顔あふれる未来をTOMODACHI 世代の仲間と共に創りたいと思っています。」

— 岩合 美樹子、TOMODACHI MetLife Women's Leadership Program



TOMODACHI アラムナイ・プログラムの 4 つの柱

クリティカル & イノベティブ・シンキング



既成概念に捉われない、時に批判的で革新的な考え方を学び、21 世紀の成功と繁栄に不可欠な、優れた課題解決スキルを養います。

市民活動



TOMODACHI を通じて得たグローバルな体験を地域社会に還元し、新たな知識、スキル、価値やモチベーションを創出して地域に貢献します。

社会に出る準備



メンタリングやアラムナイ同士の交流を通して、次世代のリーダーとして必要な知識やスキルを身に付ける機会を提供し、実力を備えたグローバル人材となるよう支援します。

つながりと継続性



TOMODACHI 世代の一員として、アラムナイ同士が交流する中で、更にネットワークを拡大し、地域の一員として、そしてリーダーとして、人と人との繋がりを生かしていきます。

次世代の リーダーシップ



TOMODACHI 世代のニーズに沿った革新的なプログラムとイベントを通して、アラムナイが次世代リーダーとなるための知識、スキル、価値やモチベーションを提供します。

シグネチャー・プログラム

複合的なスキル構築やキャリアメンタリングの機会などをアラムナイに提供する、大規模なプログラムやイベントです。



TOMODACHI U40 サミット

40 歳以下のアラムナイがカリフォルニア州ロサンゼルスで開催された「U40 サミット」に参加し、「リスクを恐れないこと」「起業家精神」「世代間の架け橋」「ソフトパワーとしての若者による市民活動」「日本における多様性」など日米関係に関連した題材について議論しました。



米日カウンシル主催アニュアル・カンファレンス：TOMODACHI ラウンドテーブル

アラムナイ 8 名が「逆境を乗り越えた経験」というテーマの下で、災害からの復興、心の病、起業、社会福祉について、それぞれの経験を共有しました。



地域別交流会（ギャザリング）が北海道・東北、関東、関西、沖縄の 4 つの地域で開催され、2017 年に発足予定の「地域別の枠組み」のための土台作りを行いました。

革新的プログラム

特定の地域やテーマを持った革新的なプログラム。アラムナイが自主的に自分の地域でも実施、展開することができます。



TOMODACHI アラムナイ災害復興トレーニング・プログラム

将来起こり得る災害に備え、支援ができる世代になる事を目指し、2 日間のワークショップが開催され、災害への備え、災害発生後の対応、心理社会的サポート、適切なボランティア活動について学びました。



TOMODACHI 世代グローバル・リーダーシップ・アカデミー

東日本大震災から 5 年を迎え、東北地方出身の高校生アラムナイを対象に、3 日間の集中プログラムが実施されました。プログラムでは、米国での体験を振り返り、それぞれの地域における課題と機会について議論をし、アクションプランを策定しました。



TOMODACHI アラムナイ・リーダーシップ・ラーニングジャーニー

多様なリーダーシップのスタイル、またアクティブリスニングやストーリーテリング等、次世代リーダーとして必要なスキルを学ぶプログラム。参加したアラムナイは、2 日間のワークショップを通して、職場や学校などそれぞれの場で活躍するために必要なスキルを身に付け、リーダーシップは決して単一な形ではないことを学び合いました。

「主張を生み出す一方で、相互理解を継続させることの難しさを深く理解し、平等なレンズを通して他者を捉えることの重要性を学ぶ機会をいただきました。」

— 梁川 菜美、TOMODACHI サマーコカ・コーラホームステイ研修プログラム



パートナーシップ活動

パートナーシップ活動を通して、アラムナイは様々なネットワークと繋がり、情報に触れ、影響力のあるリーダーと交流する機会を得ています。

米日カウンシルージャパン主催ビジネスアドバイザリー・ボードミーティング | TOMODACHI レセプション | 竹あかりプロジェクト | 在日米大使館ジェイソン・P・ハイランド臨時代理大使がアラムナイを大使公邸へ招待 | ジュニア・サミット in 三重 | 海洋自然保護のための日米国際シンポジウム in Hawaii | ツール・ド・東北 2016 | Japanese Women's Leadership Initiative (JWLI) 2016 東京サミット | 東京 ウィメン・イン・ビジネス・サミット | アジア系アメリカ人リーダー訪日プログラム (AALD) | 女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム :WAW! 2016 | 大使主催のホリデーパーティー

実施運営パートナー

TOMODACHIではプログラム運営にあたり、多くの実施団体であるパートナーと協力して、次世代を担う若い世代に人生の転機となるような機会を提供しています。2016年にはTOMODACHIの資金提供により、以下のパートナーがプログラムを実施しました。

特定非営利活動法人 陸前高田市支援連絡協議会AidTAKATA | アメリカン・カウンシルズ | 特定非営利活動法人ビーグッドカフェ | バークレー音楽大学 | Children's National Health System | Cultural Vistas | ニューヨーク州立ファッション工科大学 | 一般財団法人教育支援グローバル基金 | 特定非営利活動法人ハンズオン東京 | iLEAP | 一般社団法人IMPACT FOUNDATION JAPAN | 特定非営利活動法人International Foster Care Alliance (IFCA) | 国際学生会議 | 国立大学法人岩手大学 | 一般社団法人HLAB | ハワイ日米協会 | 公益社団法人日本国際生活体験協会 (EIL) | 全国自立生活センター協議会 | 一般財団法人日本国際協力センター | NPO法人じぶん未来クラブ | 公益財団法人万次郎ホイットフィールド記念 国際草の根交流センター (CIE) | ジュリアード学院 | 慶応義塾大学 湘南藤沢キャンパス (SFC) | Kizuna Across Cultures (KAC) | ローラシアン協会 | ルミナラーニング | マーシー・コープス | 全米日米協会連合 | National Science Teachers Association | 一般社団法人東京ニュービジネス協議会 | パーソンズ・ニュー・スクール・フォー・デザイン | ニューヨーク・フィルハーモニック | ライス大学 | 一般社団法人RCF | サンフランシスコ音楽院 | スタンフォード大学 ビジネススクール | 一般社団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション | テイラー・アンダーソン記念基金 | テンプル大学 | 日米交流財団 | カリフォルニア大学バークレー校 | ワシントンセンター

米日カウンシル(U.S.)および米日カウンシルージャパン

米日カウンシル (U.S.) および米日カウンシルージャパンは、在日米国大使館と協力し、官民パートナーシップであるTOMODACHI イニシアチブを管理・運営します。プログラムの開発と管理、コミュニケーションと普及活動、マーケティング、活動資金調達、寄付者との折衝などを主な活動としています。米日カウンシル (U.S.) は、ワシントン D.C. に本部を置く501(c)(3) 非営利非課税組織で、日米のあらゆる世代の人と人をつなぐ活動をする団体です。米日カウンシルージャパンは、東京で設立された公益財団法人です。米日カウンシルージャパンと米日カウンシル (U.S.) は別組織で、それぞれ独立した理事会によって運営されますが、双方が緊密に協力してTOMODACHIを運営しています。

米日カウンシルージャパン理事会

アーネスト・エム・比嘉 代表理事
ヒガ・インダストリーズ 代表取締役会長兼社長、
株式会社ジェーシー・コムサ 取締役、新生銀行 取締役

アイリーン・ヒラノ・イノウエ 代表理事
米日カウンシル 会長

デービッド・ニンダ 専務理事

片山 隆一 内部監査役

トッド・ガイルド
マッキンゼー・アンド・カンパニー シニアアドバイザー

川原 K. ラッセル
渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 パートナー

スタン・コヤナギ
オリックス株式会社 グローバル事業本部
グローバル ジェネラル カウンセル

米日カウンシルージャパン評議員会

キャシー・松井 会長
ゴールドマン・サックス証券株式会社 副会長

ローヤン・K・ドイ
ブルデンシャル・フィナンシャル 最高倫理責任者

藤井 ダニエル 一範
トラスト・キャピタル株式会社 代表取締役社長

ウィリアム・アイアトン
アイアトン・エンターテイメント 代表取締役

スコット 佐藤
株式会社バソナ 代表取締役社長

TOMODACHI決算概要

以下の財務報告書は、TOMODACHIイニシアチブ設立以降の米日カウンシルージャパンおよび米日カウンシル(U.S.)の要約された財務報告書です。米日カウンシルージャパンの監査済み財務諸表はwww.tomodachi.org/ja、また米日カウンシル(U.S.)の監査済み財務諸表はwww.usjapancouncil.orgに掲載されています。

米日カウンシル (連結) TOMODACHI 累積寄付額と支出 (各年)	2011-15	2016	2017-21 (誓約済み)	合計
TOMODACHI への寄付金及び誓約寄付金				
米日カウンシルージャパン	\$17,692,257	\$4,774,518	\$4,561,214	\$27,027,989
米日カウンシル (U.S.)	14,030,392	2,364,257	4,309,390	20,704,039
現物寄付 (U.S. およびジャパン)	3,355,622	444,842	2,000,000 ¹	5,800,464
寄付金及び誓約寄付金合計	\$35,078,271	\$7,583,617	\$10,870,604	\$53,532,492
TOMODACHIに係る経費				
米日カウンシルージャパン	\$12,317,212	\$4,468,846	\$4,113,264 ²	\$20,899,322
米日カウンシル (U.S.)	11,040,402	1,982,257	3,824,481 ²	16,847,140
プログラム及びプログラム支援の経費-支払済み/未払い金	\$23,357,614	\$6,451,102	\$7,937,745	\$37,746,461
米日カウンシルージャパン	\$637,949	\$271,512	\$447,950 ²	\$1,357,411
米日カウンシル (U.S.)	645,372	140,453	484,909 ²	1,270,734
管理と資金調達合計	\$1,283,321	\$411,965	\$932,859	\$2,628,145
現物寄付 (U.S. およびジャパン)	\$3,355,622	\$444,842	2,000,000 ¹	\$5,800,464
経費合計	\$27,996,557	\$7,307,909	\$10,870,604	\$46,175,070

米日カウンシル (U.S.)

TOMODACHI 財政状況 - 要約 (USD)	2016	2015
流動財産		
現金預金	\$3,073,527	\$2,068,887
未収金	608,708	1,358,179
その他の流動財産	-	-
無形資産-商標	2,335	2,335
財産合計	\$3,684,570	\$3,429,401
負債		
未払金	\$3,758	\$15,547
その他の流動負債	-	-
正味財産	\$3,680,812	\$3,413,853
負債及び正味財産合計	\$3,684,570	\$3,429,400

収支要約	2016	2015
収入		
企業からの TOMODACHI 寄付金	\$2,249,540	\$1,764,243
個人からの TOMODACHI 寄付金	-	1,064
特定資産受取利息	114,716	-
収入合計	\$2,364,257	\$1,765,307
支出		
プログラム及び プログラム支援	\$1,982,257	\$1,496,397
管理と資金調達	140,453	130,122
プログラム経費合計	\$2,122,710	\$1,626,519
為替損益	-23,078	39,919
正味財産の変動合計 ³	\$264,624	\$98,869

1. 契約期間内の現物寄付に値する額。
2. 2017-2021年のプログラム及びプログラム経費管理費、資金調達とその経費管理費の見積額。
3. 純資産変動額総額は特定年度の寄付額と支出額のみを反映しています。前年度(以前)に受領した複数年にわたる寄付や次年度(以降)に発生する支出は反映されていません。純資産のマイナス変動は現金持高や寄付総額と支出額のバランスがマイナスであることを示すものではありません。寄付の受領と支出発生 の記録時期により、どの年度でも純資産変動額総額がプラスやマイナスの変動となる場合があります。
4. 2015年・2016年度末TOMODACHIプログラム正味財産合計:米日カウンシルージャパン\$4.3百万(2015年度末)\$3.5百万(2016年度末)米日カウンシル(U.S.)\$3.4百万(2015年度末)\$3.7百万(2016年度末)。

米日カウンシルージャパン

TOMODACHI 財政状況 - 要約 (USD)	2016	2015
流動財産		
現金預金	\$4,058,173	\$4,972,984
未収金	-	-
その他の流動財産	5,590	4,638
無形資産-商標	5,048	481
財産合計	\$4,068,811	\$4,978,103
負債		
未払金	\$492,448	\$492,806
その他の流動負債	44,525	208,779
正味財産	\$3,531,837	\$4,276,518
負債及び正味財産合計	\$4,068,811	\$4,978,103

収支要約	2016	2015
収入		
企業からの TOMODACHI 寄付金	\$4,773,631	\$ 3,455,427
個人からの TOMODACHI 寄付金	-	14,095
特定資産受取利息	887	1,054
収入合計	\$4,774,518	3,470,577
支出		
プログラム及び プログラム支援	\$4,468,846	4,830,697
管理と資金調達	271,512	201,279
プログラム経費合計	\$4,740,357	5,031,976
為替損益	-41,172	4,922
正味財産の変動合計 ³	(\$ 7,011)	(\$ 1,556,478)

感謝を込めて

ファウンディング・ストラテジック・パートナー (2012年創立当初より\$1,000,000以上)



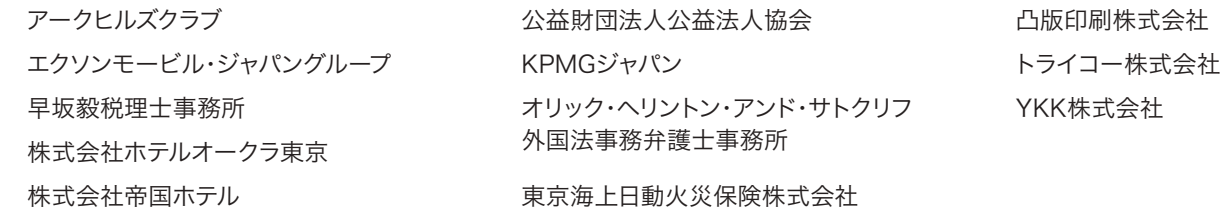
ストラテジック・パートナー (\$1,000,000以上)



協賛者/協賛企業 (\$100,000から\$1,000,000)



支援者/支援企業 (\$10,000から\$100,000)



TOMODACHI運営へのご支援

次世代リーダーを育成する TOMODACHI イニシアチブの使命に共感し、その運営と組織基盤強化のためにご支援くださる企業に、心より感謝申し上げます。



武田薬品工業株式会社より、TOMODACHI イニシアチブの運営・管理面の強化のためのご寄付をいただいています。組織が効率的にそのミッションを達成するためには、専任スタッフと十分なリソースが必要です。武田薬品工業株式会社からの多額の寄付金により、参加者の人生を変えるようなプログラムを開発し、TOMODACHI 世代を育成し、強固で永続的な日米関係構築に取り組むことが可能となっています。



Evolution Financial Group より、ニューオータニガーデンコート内に、米日カウンシルージャパンと TOMODACHI イニシアチブのオフィスおよび会議スペースをご提供いただいています。機能的で利便性の高いオフィスで安定的にプログラム運営ができ、TOMODACHI イニシアチブの使命を追及できることに深く感謝しています。



TOMODACHIイニシアチブ スタッフ

高まるTOMODACHIの広がり

さまざまな形で TOMODACHI の知名度を高め、幅広く伝えてくださった数多くのパートナー企業の皆さまに厚く御礼申し上げます。



TOMODACHIロゴを機体にデザインした全日空機



羽田空港内の各所に設置されたTOMODACHIの看板

TOMO
DACHI



twitter.com/TOMODACHI



facebook.com/USJapanTOMODACHI



youtube.com/USJapanTOMODACHI



instagram.com/tomodachi_initiative

tomodachi.org/ja